

青少年なるせだより

青少年指導員 全大会および研修会

武井美典

令和5年4月16日(日)に伊勢原シティプラザふれあいホールにて、「令和5年度伊勢原市青少年指導員連絡協議会全大会」が開催されました。当日は初夏を思わせる天候に恵まれ90名ほどの参加者の中、令和4年度の事業報告及び収支決算、令和5年度事業計画及び予算について報告がありました。続いて、伊勢原警察署の生活安全課長より、「青少年のSNSによる犯罪や闇バイト犯罪などの事例と注意点」の講和があり、県内での青少年による犯罪が増加傾向にあり、伊勢原市内でも数件発生するなど身近な問題だと感じました。

最後には、イベントなどで子供に喜んでもらえる「折り紙の作り方」を「折り紙協会」所属の市役所職員よりレクチャーして頂きました。最初は折り紙かあ! ?なんて声もありましたが、進めるうちに指導員の方々も童心に返り、笑顔があらわれる有意義な時間を共有できた全大会でありました。



成瀬地区青少年健全育成協議会を開催

赤井稔

令和5年6月17日(土)成瀬公民館1階会議室(学習室・集会室)において、3年振りの対面での成瀬地区青少年育成協議会を開催しました。

新型コロナ感染のパンデミックにより、日常生活が著しく変化したことは、学校生活にも大きな影響を与えるものとなりました。これまでの感染対策の経緯とこれからの学校生活での取り組みをそれぞれの小中学校より説明させていただきました。その内容を簡単ではありますが、ここに紹介いたします。

【成瀬小学校】

感染対策については、他の学校と大きく違いがなかったかもしれないが、児童数が非常に多く、感染対策に苦勞しながらやって来た。熱中症対策も併せて考えて、登校時や運動時は定期的にマスクを外した。

全校集会は、体育館での集合形式から端末を利用したテレビ朝会へ変更した。端末画面で資料を説明できるため、児童に伝わりやすい面もあった。

運動会は、全校児童一度にできなかったため、2部制で入場制限なしで行った。

キャンプや修学旅行は、通常通り実施する。通常だと日光であるが、去年の6年生の修学旅行は、5年次行えなかったキャンプでのふれ合い活動を体験させるために山梨県にある施設を選んだ。

PTA活動や子ども会活動を通じて子ども達の生き生きとした姿を見ることができ、体験的な活動が大事であることを認識した。

【緑台小学校】

感染対策では、今は教室の換気をしっかりとすること、健康観察カードへ記入して家庭で健康観察をしっかりと行うことの2点を守るように取り組んでいる。熱中症対策としてマスクを外すように指導しているが、外すことに抵抗感がある子どもも見られる。

給食時は班編成とするが、各学年により各自が折り合いを付けながら実施している。

地域連絡会がコミュニティスクール（学校運営協議会）に変わり、地域の人たちとみんなで学校づくりをしていき、子どもを育てていく、と言った話し合いを進めている。

地域の方の協力の一つとして自然観察コースの整備とともに、校庭の樹木の剪定作業を行った、感染対策として3密をさけるように指導してきたが、対策緩和により少しずつ友だちとの距離を詰めるようになってきている。

そのためクラスの中での児童間の付き合い方が変化して、コロナ禍では少人数の気の合う仲間と遊んでいたためトラブルも少なかったが、以前なら低学年で経験してきた自分と違うタイプの人との関わることが増えている。そのため自分の思い通りにならないことによるトラブルやそういった悩みを抱える子どもが少しずつ増えてきている。社会に出ると色々な人との関わっていくことが人間の基本なので、子ども達にそういう機会を増やしていきたい。

今後は、地域の方をゲストティチャーとして招く活動、秋の運動会、自然観察コースの整備、PTAふれあい祭り、米づくり・餅つき活動等を予定しているので、地域の方の協力を得ながら進めていきたい。

【石田小学校】

全体朝会や児童集会は、放送室等からのリモートで行ってきたが、今年度の5月からは体育館で対面での集会ができるようになった。

児童集会では5・6年生が話す内容をしっかりと準備し、話し手が相手の反応を見ながら話せることや、話し終わった後に一斉に拍手が沸き起こるなど、対面での集会は緊張感があり大きな喜びに感じた。

また、体育館での整列の仕方や態度など、6年生の活動を下級生が見て意識して行動するようになってきている。対面での集会では、相手の反応を直に得られることで5・6年生には良い刺激となっている。

みんなが一緒になって活動することは、社会に出ても色々なところで経験していくことなので、一つ一つそういった経験を積み重ねさせていきたい。

4月には6年生が1年生の教室に行って、朝の支度の仕方をお世話したり、絵本を読んだりそれから遊んだりコミュニケーションを取る活動などを本格的に再開した。1年生はその経験が6年次になって、自分たちがやってもらったことを次に伝えるられるような役割を担って欲しいと期待している。

地域の方に協力いただく活動も再開している。これまで来校者を迎えることを控えてきたが、外部からボランティアの方に来て頂いたり、保護者の協力を得て学校内の清掃指導も再開したい。

コロナ以前の活動をそのまま行うのではなく、今年度は新しい形での取り組みを一つ一つ検討して進めていく。

【成瀬中学校】

感染対策については、他の学校と大きく違いはない。朝会は小学校の対策とほぼ同じである。

コロナ禍での部活動の大会は、控えてもらっていたが7月の大会から保護者の応援参加ができるようになった。今後、文化祭や体育祭についても感染対策は講じないので、ご自由に地域の方にも来ていただきたい。

本校では不登校の問題があり、学校に行きづらい生徒に対して、個別に学校に登校してもらい、個別に対応している。

不登校生徒の登校時間はフリーで、対応する先生の時間に合わせて登校している。対応する先生は、授業以外の空き時間に生徒に登校してもらい対応するよう工夫している。

通常の登下校時間帯以外において登下校している生徒を見かけたら地域の方も暖かく見守って欲しい。

【自修館中等教育学校】

私立学校なので地域の方々にご協力をいただくことは中々し辛い。普段から生徒達の送迎や自転車通学、スクールバスを含め、地域の方々にご迷惑を掛けているという思いである。

「地域に愛される学校」と在りたいということで各委員会や生徒会へ「地域に貢献する活動」を考えるように通達をしたところ、各委員会より愛甲石田駅までの登校路の掃除をしたいとの申し出があった。

先日掃除を実施させていただき、子供たちの笑顔や、色々な方に「ありがとう」の声を掛けられ、車を停めた運転手から挨拶をされるなど、とても喜んでた。生徒達とこれからも、地域の方々から感謝される活動を続けていこうと話している。コロナ対策は他の学校とほとんど同じである。

我々の学校は、中高一貫校であるがあまり認識を持たれていないようなので学校説明会の場だけではなく、遊びついでに学校訪問に来て頂いたら、職員はいつでも説明するので、進学先の検討材料にさせていただきたい。

今後も、小学校や地域の方々と連携しながら、環境美化などの活動に協力的に参加したいと考えている。できるところは連携して実施していきたい。